

施策 6

学校・家庭・地域の連携・協働の推進

＜主な取組＞

6-① コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進します。

6-② 学校と地域・企業等をつなぐ人財を育成するとともに、地域や企業と連携した取組（地域活動、体験活動等）を推進します。

6-③ 部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備に取り組みます。

6-④ 地域における家庭教育支援団体の育成や支援団体間のネットワーク強化により、家庭教育支援体制を充実させます。

＜主な事業等＞

主な取組	事業等名	R7決算額 (千円)	取組内容・評価（●…事業概要 ▶…具体的内容・実績・評価等）
6-①	地域と学校との パートナーシップ 強化事業	2,894	● 地域学校協働活動のさらなる推進を図るため、学校関係者と地域の企業等との情報交換会等や市町村向けの研修会を実施するとともに、県立学校に地域学校協働活動推進員を配置し、活動の効果検証を行う。 ▶ 学校関係者と地域の企業等との交流会（79人参加）では、地域と学校の連携の在り方や地域学校協働活動について学び、教育支援活動への理解を深めることができた。 ▶ 地域学校協働活動研修（246人参加）では、地域学校協働活動推進員や学校運営協議会委員の参加が増え、国の動向や全国の好事例、それぞれの立場としての役割等について理解を深めることができた。 ▶ 市町村地域学校協働活動相談支援では、市町村の他に教育事務所や県立学校からの依頼もあり、コミュニティ・スクールの導入や地域学校協働本部の整備に向けた関心の高まりが感じられた。
6-①	地域学校協働 活動推進事業 学校・家庭・地域 連携協働推進 事業	36,910	● 地域学校協働活動推進の総合的な在り方や、放課後対策の諸問題について協議するとともに、地域学校協働活動や児童の放課後対策事業等の関係者の資質向上を図る研修会を開催する。また、市町村において実施する地域学校協働活動に対する補助を行う。 ▶ 学校・家庭・地域連携推進委員会及び放課後児童対策に係る市町村担当者連絡会議を開催した（74人参加）。県における地域学校協働活動推進の総合的な在り方や、児童の放課後対策の諸問題について協議し、情報共有が図られた。 ▶ 地域学校協働活動推進のための研修を実施（41人参加）したほか、放課後対策等に関わる地域人財を対象に、放課後児童対策に係る支援員等研修会を6地区で計12回実施（1,296人参加）し、学習・体験活動等の企画・実施、安全管理のための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を行った。 ▶ 地域学校協働活動の取組を行う19市町村に補助金を交付。経費の一部の補助により、各市町村において地域の特性を生かした体験活動、地域住民との交流等が実施されている。引き続き、学校と地域関係者等が互いの連携について学び、情報交換する機会が必要である。

施策 6

学校・家庭・地域の連携・協働の推進

主な取組	事業等名	R7決算額 (千円)	取組内容・評価（●…事業概要 ▶…具体的内容・実績・評価等）
6-②	青森で生きる未来 人財育成事業 （高校生地域 活動促進事 業）	589	● 青少年の自己肯定感や主体性を高めるため、高校生を地域で行われる地域活動に派遣する。 ▶ ボランティアチーム養成講座をオンライン及び対面で実施した。また、市町村及びボランティア団体等を対象とし、高校生ボランティアを学習支援やイベント補助等、多様な地域活動に派遣した。これまでは地域活動への派遣に係る条件として、講座の受講を位置付けていたが、条件を撤廃し、名簿への登録によりオンライン講座や対面講座の受講、地域活動への派遣のすべてを可能にしたことで、新規登録者数が前年度より14名増加した。また、職員と受講者、及び受講者同士のつながりができ、その後の地域活動への参加につながることができた。対面講座及び地域活動への参加者は延べ38名で、前年度より13名の増加につながった。
6-③	学校における文化 部活動推進事業	5,436	● 適切な文化部活動の実現及び教職員の文化部活動指導の負担軽減を図るため、市町村立中学校及び県立学校の文化部に文化部活動指導員を配置する。 ▶ 地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業では、国委託事業を活用して、八戸市、むつ市へ実証事業を再委託し、体制整備、指導者の質の保証・量の確保、参加費用負担等の検証に取り組み、先進事例として地域移行を実現した。また、部活動の在り方に関する研修会、地域クラブ活動推進に関する市町村担当者協議会を開催し、指導者の質の向上を図った。加えて、県構築の指導者人材バンクを活用した指導者確保に取り組み、指導者登録について、県吹奏楽連盟や県合唱連盟から協力を得た。 ▶ 文化部活動指導員について、市町村立中学校11校（5市町村）に12名の配置を支援、県立学校8校に8名を配置した。
6-③	学校における運動 部活動推進事業	22,432	● 運動部活動の指導体制充実及び質的向上を図るため、部活動指導者を対象とした研修会を開催するとともに、市町村立中学校及び県立学校に運動部活動指導員を配置する。 ▶ 令和6年3月作成の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の指針」の周知及び部活動の指導体制の充実を図るため、小・中・義務教育学校・高校、特別支援学校の管理職、部活動担当教員、市町村担当者、部活動指導員、総合型スポーツクラブ等を対象に、部活動の在り方に関する研修会を開催した（186名参加）。研修会後のアンケートにおいて、研修内容の満足度が90%を超えた。 ▶ 運動部活動指導員について、市町村立中学校61校（15市町村）に102名の配置を支援し、県立学校13校に14名を配置した。
6-④	あおもり家庭教育 支援総合事業	2,028	● 全ての親が安心して家庭教育を行うため、地域全体で家庭教育を支援していく気運を高めるフォーラムの開催や、家庭教育支援に関わる人のネットワークを広げる研修会等を実施する。 ▶ 家庭教育推進協議会では、家庭教育における今日的課題に対応するために、「あおもり家庭教育10か条」の内容を協議し、一部改訂した。 ▶ あおもり家庭教育応援フォーラム（延べ106名参加）や、青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会（43名参加）、及び地域の家庭支援を目指した多世代交流・参加型研修会（90名参加）をそれぞれ開催した。各種研修会において、地域が一体となって家庭教育を支援する意義や必要性について理解を深められた。今後は、より参観者同士のつながりを継続、深めていくためのネットワークを構築していく必要がある。

施策 6

学校・家庭・地域の連携・協働の推進

<指標>

No.	指標	基準値 (現状値)	目標値 (R10)	R6	R7	R8	R9	R10
①	コミュニティ・スクールを導入している公立学校の割合	(R5) 46.7%	65.0%	62.5%	70.4%			
①	地域学校協働本部がカバーしている公立学校の割合	(R5) 54.3%	60.0%	57.5%	58.1%			
②	高校生ボランティア名簿登録者の地域活動への参加率 (R6・R7) 「チャレンジAOMORI! 未来塾」開催事業参加者のフィールドワークへの参加率 (R8～R10)	(R5) 14.3%	100%	28.8%	46.7%			
③	部活動の地域移行に係る ㊦ 市町村における検討委員会の設置率 ㊧ 市町村における推進計画等の策定率	(R5) ㊦ 59.0% ㊧ 30.8%	㊦、㊧ともに 100%	㊦ 87.2% ㊧ 53.8%	㊦ 87.2% ㊧ 66.7%			
④	あおもり家庭教育支援アドバイザーが登録されている市町村の割合	(R5) 80.0%	100%	80.0%	75%			

<今後の方向性>

- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進（市町村における地域学校協働活動支援等）
- 主体的に活動する次世代を担う青少年（高校生）の育成（地域活動について体験的に学ぶ機会の創出、地域フィールドワーク等）
- 部活動の地域連携や、地域クラブ活動への展開の促進（部活動指導員の配置、指導者人材バンクの周知、地域展開に向けた実践研究等）